終末期や緊急等における静脈ルートが確保困難な場合の薬剤を皮下投与について

| | |
|---|---|
| 使用内容 | 終末期や緊急等における静脈ルートが確保困難な場合に薬剤を限定して皮下投与する。 |
| 対象患者 | 終末期や緊急等で静脈ルートが確保困難な患者 |
| 実施期間 | 期間限定なし |
| 目的・概要 | 終末期や緊急等で静脈ルート確保が困難な場合に薬剤・使用法を限定して必要な薬剤を皮下投与するものです。<br>緩和ケアの領域では終末期に静脈ルート確保が困難な場合であっても、薬剤・使用法を限定して必要な薬剤を皮下投与することが一般的に実施されています。 |
| 使用場所 | おもに病棟 |
| 使用条件 | 終末期や緊急等で静脈ルート確保が困難で薬剤投与が必要な場合に考慮。<br><br>薬剤一覧（★印は保険適応を有するもの）<br><br>★生理食塩液<br>ソルデム 1<br>ソルデム 3<br>5%ブドウ糖液<br>ビタメジン静注用<br>★フェノバール 100mg/1mL<br>イーケプラ 500mg/5mL （※1051）<br>★ポララミン注 5mg/1mL<br>★ブスコパン 20mg/1mL<br>プリンペラン注射液 10mg/2mL<br>ハロペリドール注 5mg/1mL<br>カイトリル注 1mg/1mL<br>リンデロン注 4mg/1mL<br>デキサート注射液 3.3mg/1mL<br>★オクトレオチド皮下注 100μg「あすか」<br>ロセフィン 1g （※1052）<br>ビクシリン注射用 1g<br>メロペネム点滴静注用 0.5g「日医工」<br>ワイスタール配合点滴静注用1gバッグ （1g）1キット（生理食塩液100mL付） |

| | |
|---|---|
| | クリンダマイシンリン酸エステル<br>ゲンタシン注 60　　60mg/1.5mL<br>アミカシン硫酸塩注射液 200mg/2mL<br>ハベカシン注射液　100mg/2mL<br>注射用タゴシッド　200mg/3mL<br>カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム静注液　100mg/20mL<br>トラネキサム酸注射液<br>フェンタニル注射液 0.1mg「第一三共」（※8001）<br>ドルミカム注射液　10mg/2mL<br>ケタラール静注用　50mg/5mL<br>フロセミド注 20mg「NIG」 |
| 想定される不利益と対策 | 皮下投与部の腫脹・発赤・疼痛・感染等。<br>穿刺部を変更する、他の投与経路を検討する、などで対応します。 |
| 当院で使用する理由 | 高度進行がんの場合には高度な苦痛緩和を必要とする場面が多く、上記薬剤を考慮する必要があるためです。 |
| 使用に関する同意について | 当院では対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行い同意をいただく代わりに、ホームページに情報を公開することにより実施します。本件に同意をいただけない場合やお問い合わせなどありましたら、担当医師にお申し出ください。 |

栃木県立がんセンター　病院長